

Principal Correspondence

コロナ禍での幼小教育

世の中テレワーク・遠隔ICT授業が注目されて、いかにもこれが今後の教育の主流のような雰囲気ですが、小学校教育の基本はあくまで「人と人の対面での経験活動と集団教育」です。「知識を学ぶ(基礎学力は大事)」ことは大切ですが、「生き方・学び方を学ぶ」ことはもっと大切です。しかし、よもやコロナ禍で体験活動ができない状況が起こるとは予想できませんでした。

すでにICT環境の整備と実績(全教室に電子黒板を導入。情報の授業で毎日パソコン入力コンクールで日本一を2名輩出。学校としても団体で日本一等々)を積み上げてきましたが、今般の現状を鑑み補助的な位置づけではありますが、ICTを活用した授業を始めます。



一方で「ご家庭に子ども1人1台のコンピュータや、タブレットが用意できるのは稀である」とか、「中高生の兄姉の遠隔授業の時間と重なり機材の取り合いになって小学生まで回らない」とか「タブレットの種類が様々でうまくアクセスできない」「そもそも家庭にインターネットを引いていない」等、様々な課題を耳にします。1人1台タブレットを持たせるか?プログラムはどうするか?タブレットを持つことで有害サイト(現代では非行の入り口はゲームセンターではなく、ほとんどが有害サイトだと言われます)へのアクセスをどう制限するか?課題は多いのも事実です。

コロナ禍が落ち着けば、当校ではお盆を除いて授業を実施する予定です(全館・体育館もエアコン整備済)。後期は、運動会、コーラスフェスティバル、クリスマス、修学旅行、校外学習、民泊体験等行事が目白押しです(実施できることを祈っています)。ですから、まずは前期に基礎学習をしっかりやっていきます。ご家庭では読書のできる環境を作りましょう。

救いは、現在のところ子どもの感染は通常のインフルエンザに比べて極めて少なく、仮に感染しても重症化しにくいこと。子どもが感染媒介者になりにくいことです(例外はあるでしょう)。

4月に出された政府の緊急事態宣言や知事の外出自粛要請下でも、幼稚園・保育園・学童の開催は要請されています。自主登園・登校が始まった3月は8割、4月は3月の約半数ほどの園児たちが毎日通っています。救急、医師、看護師、消防士、警官、自衛官など様々な公的職業に夫婦とも働いておられる方が多いのだと思われます。毎日、朝から晩まで幼稚園教諭、保育士、学童の教諭は命がけで子どもたちを守っています。

リリーベール小学校では、今後、長期の休みが要請された場合も、分散登校(3密を避けるハウス登校日)を設け、学習のチェックをし、学校への帰属意識を保っていきます。心ひとつにみんなで頑張ってまいりましょう。



Principal Correspondence

コロナ禍をともに乗り越えましょう

下記は東日本大震災の起きた2011年のリリーのある保育園のマンスリーレターの一部です。

5月になります。命の息吹が燃える新緑の季節。しかし2011年3月11日、何百年に一度の東日本大震災によって今年度は多くの苦しみを残すスタートになりました。災害の様々な爪あとが残る茨城ですが、東北地方の人々の苦しみに比べれば比較になりません。それにしても何て東北の人々は忍耐強く、毅然として、秩序正しいのでしょうか。日本人の美徳をまざまざと世界に見せてくれたと思います。

地震当時保育園は保育中でした。保育士はもちろんのこと、保育福祉専門学校の教員が全員保育園に駆けつけ、子どもたちを抱えて駐車場に誘導しました。先生方が子供たちを丸く囲んで保護し、午後9時半ごろ保護者に最後の園児をお渡しするまで、先生方はアリーナに保育室を移して紙芝居を読んだり、歌を歌ったりして励まし続けました。

保育園の先生のがんばりは続きました。自分の家は後回しで翌土曜日朝7時半には集合し、土、日かけて東館2階へ保育室の移動を敢行し、月曜日から何事もなかったように保育を開始したのです。驚くべき団結力と行動力でした。そして3月26日には無事卒業式と終業式を終え、次年度の準備にかかりました。

園舎も未曾有の想定を超えた震災に、少なからず傷ついたのでありますが、新学期までに安全面での点検、処置を施します。少しずつ一学期から夏休みまでにかけて元の姿に戻していく所存です。新入園児を迎え、希望に燃える子供たちに応えるべく、今年度も全職員が一丸となって教育に邁進します。リリーは皆さんとともにがんばります。

9年が経ち、またもや日本は(世界も)未曾有の災難に襲われました。今度の相手は目には見えないので不安が募ります。しかし国や県は幼稚園・保育園・学童保育を開催するように求めています。夫婦ともに救急、看護師、医師、警察、自衛隊、公務員、ドラッグストアやスーパーなどにお勤めの保護者が働かねば社会が回りません。

私たち保育者も学童の先生も同じです。ですから先生方も必死でやってきました。3月からは毎日児童・園児のうち三分の二の900名を預かり、園を続けてきました。4月の緊急事態宣言後も自由登園ですが毎日500名が保育、学童に通ってきています。

この時期に働くお父さんお母さん！大変ですがどうか頑張ってください！私たちも最善を尽くして子どもたちを安全に看ることで、みなさんを支えていきます。

